

も

もっちもおすすめ新国体情報



「エピソード①」

終わりましたね。国体も全国障害者スポーツ大会も。総社市開催競技を獲得することに始まって、準備に約10年を費やしたそうですよ。十年一昔といえますから相当な期間です。その間、ずいぶん多くの人が関わったのでしょね。私の目や耳に届いただけでも数々の活動がありますし、誰に知られることなく陰で支えた人もいたことでしょう。そんな中で、前回の岡山国体をきっかけに誕生し、43年を経た今も続いている活動があるのですって。

発祥が国体だったとは知りませんでした。国体会場で開催された今年の菊花展。来場者を迎える、ずらり並んだ見事な作品。その美しい菊の大輪を、立ち止まって見ていた選手の姿が印象的でした。会場周辺の沿道には、大会の名残花・マリーゴールドが、まだ鮮やかに咲いています。

ろ、やはり本物はいいものです。人の温もりが感じられますし、心が和みます。そして感動があります。継続には、かなりの努力が必要だと思いますが、ずっと続いて欲しいものです。



平山 昇求 医師

健

康アドバイス (吉備医師会から)

無症候性脳梗塞について

皆さん、脳梗塞という病気はご存知ですか。脳の血管が閉塞して、その血管により栄養が送られていない脳の組織が死んでしまう病気です。

症例も実は大変多い訳です。この無症候性脳梗塞がやっかいなのは、まさに、この発症しているかどうか自分ではわからない点にあります。

梗塞を起こしている可能性がありますので、特に症状はなくとも、頭部の検査を受けておくことをお勧めします。

や

っぱりええなあ。総社のまち

鑄物の灯ろう



阿曾小学校から北へ200メートル程行くと、赤茶色をした鑄物製の灯ろうに出会えます。

の良い職人ばかりを集め、最高技術の結集により製作されたそうです。地域の人は旅に出る際、ここで必ず安全を祈願していたとのこと。戦時中あらゆる鉄製品が供出させられましたが、この灯ろうは村人の願いがこもった大切なものとして、供出を免れたのではないのでしょうか。

す。江戸時代には9軒の鑄物業者があり、十数年前までは2、3軒の鑄物工場が残っていたそうです。残念ながら今では、操業しているところはあります。しかし、近所づきあいの中で北金屋さん、中金屋さん、西金屋さんなどといった屋号で呼び合っているなど、歴史をかいま見ることができうれしくなります。

※牛鍬先=田んぼを掘起すために牛に引かせていた道具

市

長室から

みんなの心がひとつになった国体

感動の国体が終わった。県民の心がひとつになった。大勢の人びとに支えられた。

勝者はもちろんのこと敗者も称えたい気がした。

き、大きなパワーが発揮されたすばらしい試合となった。

総社市長 竹内 洋二